

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	キッズISOプログラム推進事業	所管	環境クリーン部 環境総務課
			TEL 2998-9133

事業の目的 (何の為に 行うか)	子どもたちの「気づき」を大切に環境意識形成を促す。さらに、家族を巻き込んで取り組むことで、家庭、地域へと環境行動の輪が広がり市民生活へ浸透していき、市全体の環境保全行動を向上させる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内の小学校5・6年生。	対象とした数	6,039	人
		実際に 利用した数	565	人

活動の内容 (何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校を經由し、対象者へ募集を行う。</li> <li>希望する子供たちに、学校を經由してワークブック、説明資料を配布する。</li> <li>各自取り組みを実施し、学校を經由して市にワークブックを提出する。</li> <li>市よりワークブックをNPO(アーテック)へ送付し、評価を受ける。</li> <li>NPO(アーテック)からきた評価を、学校を經由して子供たちへ戻す。</li> <li>実施結果を集約し、子供たちに環境配慮行動を継続する大切さを伝える。</li> </ul>							
	活動実績	項目名	入門編	424 ----- 単位 人	項目名	----- 単位	項目名	----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	781	651	4,878	14.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	入門編参加者の修了率	修了者/参加者数	80 ----- 単位 %	75 ----- 単位 %	93.8 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 * 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050100	TEL	2998-9133
事業コード	キッズISOプログラム推進事業					
050106						
開始年度		平成 12 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画						
	関連・類似事業	温暖化対策啓発事業						
総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	1節 環境との共生	中柱	3 環境施策への参加と協働の推進	小柱	(1)環境教育・環境学習の推進

③事業の内容	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 17 位		・実施計画における位置づけ…   H19 ***   H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ			
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード
事業開始の背景	環境問題が地球規模になっている状況の中、次世代を担う子どもたちの環境意識形成が重要である。そのため、NPOが開発した子ども向けの環境教育プログラムであるキッズISOプログラムに着目し、NPOとの協働により環境学習の推進を図り、子どもから家庭へそして地域へ環境意識の浸透を促し環境保全行動を定着させるために実施した。			

④前年評価と改善点	目的(何のために行か、具体的に)						
	子どもたちの「気づき」を大切に環境意識形成を促す。さらに、家族を巻き込んで取り組むことで、家庭、地域へと環境行動の輪が広がり市民生活へ浸透していき、市全体の環境保全行動を向上させる。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	市内の小学校5・6年生。			取り組み参加した人数			
対象数	単位	平成 18 年度	6,089	人	平成 19 年度	6,039	人
		平成 18 年度		人	平成 19 年度		人
		平成 19 年度		人	平成 19 年度		人
事業の具体的な内容及び実施方法							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を経由し、対象者へ募集を行う。</li> <li>・希望する子供たちに、学校を経由してワークブック、説明資料を配布する。</li> <li>・各自取り組みを実施し、学校を経由して市にワークブックを提出する。</li> <li>・市よりワークブックをNPO(アーテック)へ送付し、評価を受ける。</li> <li>・NPO(アーテック)からきた評価を、学校を経由して子供たちへ戻す。</li> <li>・実施結果を集約し、子供たちに環境配慮行動を継続する大切さを伝える。</li> </ul>							

平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点			
応募者が少なかったことから、先生がたに呼びかけ、学年単位でキッズISOプログラムに取り組んでもらった。通常は夏休み中に取り組みをお願いしているが、夏休み後の9月・10月でも可能とした。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		773	781	780
	決算 (見込み含む)		735	651	
	(嘱託職員) (臨時職員)	人 (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		0.19 人 1,748	0.45 人 4,227	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		2,483	4,878	
	財源内訳	一般財源	2,483	4,878	780
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			7.3	14.4	
利用数一単位あたり(単位:円)			4,222.8	8,634.2	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	入門編 修了者	人	469	424	500	
	成果分析	入門編参加者の修了率	%	目標値 80	実績 79.8	75	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2   1
		修了者/参加者数	%	達成率 99.6%	93.8		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
	明らかとなった課題	環境学習の場の提供及び大人を巻き込んでの環境配慮行動の普及など、成果は上がっている。しかし、活動への取り組みは子ども達に任せられており、取り組みの途中での家族の声掛けや先生方のアドバイスなどの支援を考えていく必要がある。		
今期目標項目(何を)	入門編の終了者数	参加者数の80%	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定				平成21年3月
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	家族を巻き込んで行う環境学習、環境配慮行動の普及には一定の成果は上がっている。			
評価日	平成20年 5月 1日	記入者職氏名	環境総務課 主幹 高橋 佳雄	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由			
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 市長マニフェスト		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日			

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1151
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
主要課題	子どもたちの知識・能力の育成			
施策の方向	5環境学習の推進			